



吉崎別院便り

バラバラでいっしょ！

になれるところ

お内佛報恩講を勤修

お勤めの様子



11月25日、お内佛報恩講が勤まり、約10名のご門徒がご参詣をしました。お内佛報恩講は、会館2階仏間にあるお内佛を恭しく荘厳し、真宗本廟（東本願寺）で勤まる宗祖親鸞聖人の御正忌報恩講（11月21～28日）に併せ、毎年お勤めされるものです。参詣をされた上出幸一さん（大聖寺教区）は、「親鸞聖人の御恩徳と併せ、「中興上人」とまで称された蓮如上人が、吉崎にて命を懸けて布教なさったことを忘れてはならないと思う。」と語り、吉崎別院各法要の参詣者増加を切に願っていました。

供奉人申込みの受付が始まる

来春お迎えする第三四七回「蓮如上人御影道中」の供奉人申込みの受付が始まりました。供奉人とは、御影道中（御下向・御上洛）の中心を担い、蓮如上人の御影にお供する重要な役割でそれぞれ6～8名で組織されます。供奉人の申込みは、蓮如上人御影道中協力会・役員会からの推薦を受けた供奉人経験者や今年の道中完歩者を対象にして始まり、既に全国各地から20名を数えています。



お内佛のお荘厳